

教科	科目	書道 I	担当	
履修学年	単位数	2	履修区分	普通科（選択 必修）
教科書	書I（光村図書）			
副教材等				

1 学習目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。

2 学習評価

評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
a	知識・技能	書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付ける。
b	思考力、判断力、表現力	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉える力を身に付ける。
c	学びに向かう力	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感受性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3 全体計画

期	月	内容の まとめ	単元 (題材)	項目 (学習内容)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法							
					a	b	c									
前期	4		書写から 書道へ 漢字の書 【楷書】	孔子廟堂碑 九成宮醴泉銘 雁塔聖教序 顔氏家廟碑	○	○	○	a 楷書古典の書体や書風と用筆・運筆、字形との関わりについて理解し、基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かし表現している。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統について理解している。 b 楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 c 漢字の書体の変遷や、その背景にある歴史や文化に関心を持ち、主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習に取り組んでいる。	授業態度 課題作品の評価							
	6									全国書道展・文化祭に向けた取り組み	半紙作品の制作 条幅作品の制作 創作作品の制作	○	○	○	a 自らの感性や意図に基づいて、字形の構成や全体の構成を工夫しようとしている。 b 自己の表現のねらいを達成するために、古典のもつ伝統的な美を感じ、表現を構想し工夫している。 c 自らの意図に基づき、意図的に取り組んでいる。	授業態度 課題作品の評価 課題の取組
	9															
前期末考査：																

後 期	9	漢字の書 【行書】 【草書】 【隷書】 【篆書】	争坐位文稿 蜀素帖 風信帖 真草千字文 曹全碑 泰山刻石	○	○	○	a 筆者の感興や意図と字形や線質との関わりに関心を持ち、字形・全体の構成の要素を理解し表現している。 b 漢字の書の美に対する感性を働かせて、自らの意図に基づいて表現を構想し工夫している。 c 意欲的、主体的に漢字の書の美を味わい、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について幅広く理解している。	授業態度 課題作品の評価	
	5	篆刻・刻字	(篆刻) 篆刻ブック (刻字) 五書体より創作	○	○	○	a 字形の構成や全体の構成の要素を理解している。 b 自己の表現のねらいを達成するために、古典のもつ伝統的な美を感じ、表現を構想し工夫している。 c 篆刻・刻字に興味を持ち、意図的、主体的に表現の構想から完成に至るまでの充実感や喜びを味わおうとしている。	授業態度 課題作品の評価 課題の取組	
	後期中間考査：								
	11	仮名の書	蓬萊切 高野切第三種 関戸本古今和歌集 元永本古今和歌集 寸松庵色紙 升色紙	○	○	○	a ・基本的な用具・用材に関する知識や扱い方を理解しようとしている。 ・運筆の律動性や筆脈の把握を通して、仮名の美的特質を理解し、その技法を身に付け表している。 b ・筆者の感興や意図と単体、連続や線質との関わりに関心を持ち、意欲的、主体的に仮名の書の美を味わおうとしている。 ・用具・用材によって線質や表現が変わることを理解し、表現を工夫している。 ・仮名の書の美に対する感性を働かせて、自らの意図に基づいて表現を構想し工夫している。 c 鑑賞と表現は相互に関連していることを理解し、書よさや美しさを理解している。	授業態度 課題作品の評価	
5	漢字仮名交じりの書	「心に響く言葉」のイメージ創作作品の制作	○	○	○	a ・文字や文字群と余白との関係を理解し、全体の構成を考えた表現の技能を身に付け表している。 ・書が生活の中で果たしている役割を知り、書の効用を理解している。 b 漢字と仮名の字形や文字の大きさなどが全体の構成に関わることを理解し、表現を工夫している。 c 漢字と仮名の調和と線質との関係について興味を持ち、表現を高めようとしている。	授業態度 課題作品の評価 課題の取組		
3	漢字仮名交じりの書	漢字仮名交じりの書による創作作品の制作	○	○	○	a 用具・用材、線質、字形、全体の構成などの表現の技能を身に付け表している。 b 目的や用途に即した形式と表し方を判断し、文字の大きさ、配列、書体など、それぞれに適した表現を工夫している。 c 創作に興味を持ち、意図的、主体的に表現の構想から完成に至るまでの充実感や喜びを味わおうとしている。	授業態度 課題作品の評価 課題の取組		
後期末考査：									

4 評点の観点別配点(考査以外も含む合計)

	前期中間	前期末	後期中間	後期末
a		40		40
b		30		30
c		30		30
計	0	100	0	100

5 授業や課題等に取り組む上での留意点